



サイエンスツアー 2025

今年も宿泊は地球研にお世話になりました～→

8月26日(火)～28(木)に京都サイエンスツアーが実施されました。昨年に引き続き2回目の実施になります。応募総数41名の中から選抜された10名が参加しました。



京北銘木生産協同組合



京北銘木生産協同組合で木材や林業についての学習を行いました。沖縄では林業がどんなものかイメージしにくいものです。木がどのように育てられ、私たちの暮らしに役立てられているのか生産から加工までの過程を説明していただきました。



木を一本一本大切に育てている様子や、木材の加工技術に驚き、針葉樹林は切っても下の台があればまた生えてくるという力強い木の生命力に圧倒されました。(Tさん)

← 廃材で My 箸作り v



ことす



京都里山 SDGs ラボ「ことす」は、廃校になった小学校をリノベーションして誕生した地方創生・SDGs モデル施設です。

「ことす」＝「事を起こす」をテーマに 2050 年のカーボンニュートラル社会に向けた創造と変革を目指しています。

ゲームで環境問題を知ろう



←海の中をVRで体験

ことすでは自分達が食べた弁当のゴミを、とても細かく分けてほぼ全てがリサイクルできるようにしていて驚きました。また、万博での展示物では未来の社会や持続可能な暮らしをテーマにしており、技術的な面だけでなく、私たち一人ひとりの生活に深く関わる内容でした。(Tさん)



みんなのプラへの思いを黒板へ

総合地球環境学研究所

地球研は様々な国籍の方達が地球を良くするという目標を掲げて研究や企画に取り組んでいる施設です。向陽高校がお世話になって3年目です。



「一つ一つの具体例の積み重ねでしか、地球環境は動かないものだ。」という言葉が印象に残りました。今まで、環境を良くしたいと思っていたけど、抽象的に考えて逃げていて動けていなかったの、心に残りました。

問題解決のために自分たちだけが動くのではなく、地域と関わることで、より大きな組織となって、解決に向けて行動することができることができました。(Oさん)